



# 千葉大学医学部ヨット部報

Vol.22 2012/7

## はじめに

そろそろ梅雨も明け始め、夏本番の季節となって参りましたが、先生方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。はやいもので、夏の東医体まであと一カ月となって参りました。今年は主幹ということもあり、レースメンバーはもちろんのこと、部員頑張っております。

本報では、ヨット部OB会長山浦先生、部長清水先生のご挨拶、全学ヨット部の監督であり、我々医学部ヨット部の監督もしてくださっている斉藤威監督のご挨拶、新入生の紹介、東医体レースメンバーの挨拶をお届けします。

## OB会長挨拶 (「ヨットは美しい」)

千葉大学医学部ヨット部

OB 会会長

山浦 晶 (昭和 40 年卒)

私の部屋には常にヨットの写真を使ったカレンダーがある。

それらは、静かにもやわれた大型ヨットであったり、クルーがめいっぱいハイキングブレーイングする緊迫のレース風景であったりする。

いずれも実に美しい姿だ。単なるすがたかたちだけでなく、計算しつくされた機能美があつての美しさであると思う。

私は大学でのヨット部時代から、様々なクラスのヨットを楽しんできた。A 級ディングー、スナイプ、フィン、470、ソーラー、ホッパー、スパロー、スター、キャットなどのほか、黒潮 1 世などのクルーザー。

スターは往年のオリンピッククラスであるが、私が横須賀米軍病院のインターンであった時に楽しむことができた。いざレースとなれば、体重が 100kg に満たない小兵では微風でなければ、扱いもままならないだろうと思われた。これで 2 人乗りなのだ。スターの美しさは、フェンダーが高く直線に近い側面に凝縮している。スター級ならではの超技術が求められたのであろう。このクラスは水面を滑る（プレーイングする）のではなく、波を貫いて行くタイプである。

机上において美しいのは、やはり大型のクルーザーのモデルだ。船底の美しさが目を引く。ボディ側面からキールに流れるあの曲線はなんだ！見ているだけで潮騒が聞こえてくる。しかし、ボディにセールがつくと、なんとなく白けるのが不思議である。

試乗すら叶わなかったがその姿が印象深く記憶に焼き付いているものに、フライング・ダッチマンがある。その美しさには圧倒された。山中湖のレースに登場したその姿を思い出す。スラリと高いマスト、あたかも水面に溶け込んだように低いフェンダー、湖面を滑る様は、他のクラスの参加艇を威圧していた。つまらぬ接触を避けるように、レース艇の群れを遠く避けて、はるか風下に位置していたのもニクイ限り。

それにしても、我々の楽しんだA級ディンギー、スナイプはどこに行ってしまったのか。カレンダーには決して現れない。

山浦 晶

昭和40年卒業

千葉大学医学部ヨット部 OB 会会長

(現 千葉県立保健医療大学 学長)

## 部長挨拶

清水 栄司 (平成2年卒)

今年から、前任の徳久剛史先生から引き継ぎまして、医学部ヨット部の部長をさせていただきます平成2年卒の清水栄司(医学研究院 認知行動生理学)です。60周年記念式典を昨年行った歴史あるヨット部において、非常に若輩ですが、一つ一つの目の前の物事に全力で精進いたしますので、よろしくお願い申し上げます。徳久剛史先生におかれましては、今後も、千葉大学理事という大学全体を牽引されるお立場から、医学部ヨット部の活動を、OB会長の山浦晶先生とともにご支援いただけますように、よろしくお願い申し上げます。また、斉藤威監督におかれましては、自分が学生時代から、ご指導いただいておりますが、長年お勤めになられた県のお仕事のご定年をお迎えになられたとのことで、誠にめでたうございますとお祝いの言葉を述べさせていただきますとともに、今後ますます、医学部ヨット部が強くなりますよう、監督として変わらぬご指導のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。さて、今年も6人(人数ご確認ください)の新入部員が入部してくれました。先輩に続いて、卒業まで活動を続けてくれるようお願いいたします。また、今年、東医体の主幹校をやります。斉藤監督のご指導のもと、「くろしお」を本部艇として用いる予定です。けがや事故のなきよう、また、日頃の練習の成果を存分に発揮し、前進を続けてくれることを期待しております。

## 監督挨拶 (「あきらめない」)

千葉大学ヨット部監督 斉藤 威

一年前、なでしこ JAPAN がワールド女子サッカーで宿敵アメリカを破り、ゴールドメダルに輝いたことは記憶に新しく、東日本大震災後の暗い日本をいっぺんに明るくする快挙でした。

1点取られ追いついて、そしてまた1点取られたところで「もう駄目だろうが、よく頑張ったものだ」と実況を見ながらなでしこ JAPAN の健闘をたたえようと思っていた矢先、何とコーナーキックから沢選手がセンターリングを合わせてゴール。そしてペナルティーキック合戦に持ち込み、今度はなぜか「負ける気がしない」気持ちで実況を見ていました。案の定日本の圧勝。歓喜に沸く中でなでしこ JAPAN と打ちひしがれたアメリカチームの様子は文字通り明暗を現すものでした。

表彰後のインタビューで沢キャプテンは「あきらめない」気持ちで戦っていたことを語ってくれました。プレーしている選手たちはそうだったんだ。見ていた私は恥ずかしい気持ちになってしまいました。「最後まであきらめない。何が起こるか分からない。何かを起こすために最後まで力いっぱい戦う。」本当に大事なことを日本国中の若者に教えてくれたすばらしいコメントでした。

このことを医学部ヨット部創部60周年の時にスピーチさせていただきました。今年の東医体では、どんな順位で最終マークを廻っても、最後まであきらめないで1番でも順位を上げること考えること。結果、我がチームの3艇とも1位ずつ順位をあげ、相手チームが1位ずつ順位を下げると6点の差がつきます。どんな総合成績で最終日を迎えても、必ずや優勝するという強い気持ちで戦いぬくこと。結果、我がチームの3艇とも上位でフィニッシュし、相手チームが思わぬ失格や失点をすると結構な差でもひっくり返すことができます。必ずやこのことを念頭にレースを戦ってほしいと思います。

しかし、相手チームの失敗はあてに出来るものではありません。「あてにしない」で、まずは自分達がしっかり最後まで戦いぬくことです。風も自分に優位に振れることばかりではありません。逆に反対コースを狙って、他のチームにも抜かれてしまう経験があると思います。自然現象には逆らえず、自分の思うようにはならないのです。

また、逆の立場のこともお話ししました。それは「あなどらない」です。最近優勝から遠ざかっているのは、多分にこのことが影響しているように見受けられることがありました。練習では走り勝っている。相手校は3艇全艇が走るメンバーではない。など、相手を見下していることやそう思うことで安心したいということがあってか、試合前にそんなことでいいのかと思うこともありました。大会の出だしは好調でも、だんだん追い上げてこられるとそんなはずではなかったとプレッシャーが募り、結局自滅してしまう。今年のロンドンオリンピックの選考レースでも、男子470の松永組は日本代表を確実にしたと思いましたが、最終レースでその切符を逃してしまいました。

また、出だしから相手チームに走られてしまうと、同じようにそんなはずではなかったとプレッシャーが募り、追いついてきているのに届かないのではないかと不安になってしまふ。北京オリンピックの女子470の近藤組は、世界ランキング1位であったにも関わらず、第一レースでインシデントをおこし10位くらいの成績で、以降2度ほど1位を取ったものの、そのほかは調子が上がらず惨敗してしまいました。

そして、もう一つの「あ」である「あわてない。あせらない」の問題です。準備が不十分、特に気持ちの準備が十分でない、メンタルなトレーニングができていな

いと、何か予想しないことが起こった時にあわててしまう、あせってしまうこととなります。チームに全体が危機管理の問題を大事に考え、レースメンバーだけでなく控えの選手も含め全員でイメージトレーニングに励むことが必要です。

以上、4つの「あ」のことを大事にして、今年こそ東医体優勝を飾ってください。そして、このことは今後の医療の場でも思い出して活かしてください。医者も患者も必ず病気は治す、治るとあきらめない。そしてお互いをあてにしないで自分が頑張る。完治するまで、完治してもあなどらない。思わぬ事態が起こってもあわてない、あせらない。と言うことではないでしょうか。

最後にもう一つ。「あやまらない」の「あ…ない」は、逆にやめた方がいいと思います。非権利艇でインシデントが起こった場合には、さっさと2回転してペナルティーを履行することです。

## 新入部員の言葉・新歓コンパ

2012年度は7名（男子4名、女子3名）の新入生が入部しました。夏まではまだまだヨットに乗る機会は多くはないものの、積極的にヨットについて学び、日に日にヨット部員らしくなってきました。

それでは新入部員たちの挨拶です。

- |              |  |
|--------------|--|
| 相原 優美（開智）    | 私は中学高校でちゃんとした部活をやってこなかったのですが、その分これからの六年間をヨットに捧げたいと思います。荒波にも負けないように頑張りますので、よろしく願いします。 |
| 石原 慶（海城）     | ヨット部に入ったからには、この素晴らしい先輩方と共に、東医体優勝を目指して青春したいと思います。                                     |
| 大和田 彩夏（桜蔭）   | ヨット部の素晴らしい先輩方の仲間入りをさせてもらえるかとてもうれしいです。これからヨット部で活躍できるように頑張るのでよろしく願いします。                |
| 駒井 佑哉（巣鴨）    | 最初に来た時、ヨット部の雰囲気が大好きになりました。ヨットでは、この体格を活かした安定性抜群のクルーを目指します。                            |
| 長久保 源太（渋谷幕張） | 自然と一体化できるすばらしきスポーツヨットに感銘を受けました。ヨットと共に人生の波を越えていこうと思います。                               |

中島 理子 (桐蔭) 上手くできないことがある時も努力してできるように頑張りたいです。六年間よろしくお願いします。

島田 遼 (暁星) 地黒で、これからさらに黒くなるかと思うと不安ですが、問題ないくらい海の似合う男になりたいです。

## 2012年 東医体レースメンバー紹介

今年もまた、医学部ヨット部の最大の大会である東日本医科学学生総合体育大会（東医体）が近づいてきました。今年の東医体は、8/2～8/5に、例年通り江ノ島沖にて行われる予定です。今年は、以下のように組んでレースに臨みます。

先生方の温かいご声援をどうぞよろしくお願いします。当日は観覧艇も出す予定です。是非、レースの応援にいらしてください。

| Sail Number | スキッパー       | クルー               |
|-------------|-------------|-------------------|
| JPN-4413    | 加藤 央隼 (5年)  | 坂崎仁美(3年)・涌井凜子(3年) |
| JPN-4305    | 鈴木 雄太郎 (5年) | 荒木 岳(3年)          |
| JPN-4224    | 石井 公祥 (5年)  | 古谷 慶太(3年)         |
| JPN-4143    | 山本 寛人(5年)   | 栗原 滉平(3年)         |

それでは本年度のレースメンバー達の挨拶です。

### <JPN4413>

**加藤 央隼** 今年はスキッパー4人、クルー5人で東医体に臨むことになりました。この一年間、しのぎを削ってきた信頼できる仲間と力を合わせて、優勝を勝ち取りたいと思います。

**坂崎 仁美** 東医体まであと一カ月できるだけだけの努力をして優勝目指してがんばります！！

**涌井 凜子** 大好きな五年生と共にそれぞれの船の良さを最大限に発揮して最高のパフォーマンスができるようにがんばります！！



坂崎 加藤 涌井

< J P N 4 3 0 5 >

鈴木 雄太郎 今年こうして一緒に頑張ってきたレースメンバーと共に東医体に出られることをとてもうれしく思います。何よりも最後のレースを楽しんで、最高の結果を残したいと思います。



荒木 鈴木

荒木 岳 とにかく、冷静に、ひたむきに、東医体優勝目指してがんばります！！

< J P N 4 2 2 4 >

石井 正祥 恥じることなく、自分の納得できる走りをしてこようと思います。どんな状況になってもあきらめずに最後まで頑張りたいと思います。応援よろしくをお願いします。



石井 古谷

古谷 慶太 東医体に向けがんばってきた成果を発揮したいと思います。応援のほど、よろしくをお願いします。

< J P N 4 1 4 3 >

山本 寛人 今までヨット部で経験したことをスキッパー、クルー共々生かした走りができるよう精一杯がんばりますので応援の方よろしくをお願いします。



栗原 山本

栗原 滉平 毎レース全力で頑張ります！！応援よろしくをお願いします。

## 医学部ヨット部の夏の日程

|         |                  |
|---------|------------------|
| 8/1～8/5 | 東医体（江ノ島）         |
| 8/1     | プレレース            |
| 8/2     | 女子レース            |
| 8/3～8/5 | 本戦（5日に引退式・幹部交替式） |

8/7～8/9 関東医科歯科学生ヨットレース (江ノ島)  
 8/7 プレレース  
 8/8～8/9 本戦

8/12～8/17 稲毛合宿 (稲毛ハーバー) : 1年クルー・2年スキッパー養成合宿

## 2012年度 現役部員名簿

|    |         |    |    |        |    |        |  |
|----|---------|----|----|--------|----|--------|--|
| 部長 | 清水 栄司教授 |    |    |        |    |        |  |
| 6年 | 米田 慧    | 4年 | 主将 | 園田 至人  | 2年 | 石坂 昌太郎 |  |
|    | 小関 久美子  |    | 主務 | 青木 里衣  |    | 浦野 亮   |  |
|    | 榎本 悠里   |    | 会計 | 三井 健太郎 |    | 小川 美咲  |  |
| 5年 | 加藤 央隼   |    |    | 井尻 直宏  |    | 古谷 誠   |  |
|    | 石井 公祥   |    |    | 小林 祐介  |    | 西織 浩信  |  |
|    | 鈴木 雄太郎  |    |    | 山川 祐司  |    | 山本 大基  |  |
|    | 橋田 真由美  | 3年 |    | 荒木 岳   | 1年 | 相原 優美  |  |
|    | 山内 陽平   |    |    | 栗原 滉平  |    | 石原 慶   |  |
|    | 山本 寛人   |    |    | 坂崎 仁美  |    | 駒井 佑哉  |  |
|    |         |    |    | 古谷 慶太  |    | 長久保 源太 |  |
|    |         |    |    | 涌井 凜子  |    | 中島 理子  |  |
|    |         |    |    |        |    | 島田 遼   |  |

## あとがき

現在私たちは、夏の東医体を目前に控え、部員一同一丸となって優勝に向け日々練習に励んでいるところです。このように、部が活気を持ち活動を行うことができるのも、日頃からの諸先生方の御支援御協力のおかげと、大変感謝しております。今年の夏も、先生方には是非良いご報告ができますよう精一杯頑張ってみようと思っておりますので、温かいご声援をどうぞよろしくお願い致します。

9月には稲毛ヨットハーバーにてOBレースを予定しております。詳細は追ってご連絡させていただきます。ご多忙の折とは存じますが、多くの先生方のご参加をお待ち申し上げます。

また、私たちの活動状況・レース結果などは、ヨット部のホームページにも掲載しております。お時間のある際には、是非ご覧になってみて下さい。

<http://chibamedyacht10.web.fc2.com/index.html>

### 編集後記

千葉大学医学部ヨット部報もおかげさまで第22版を迎えることができました。今回の発行にあたり、寄稿して頂いた先生方には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。冬には、夏の大会の結果を載せた部報を発行したいと考えています。主幹ということもあり、良い結果勝ち取りたいと思っておりますので、是非東医体・関東医科歯科戦に注目しててください。

4年主務 青木 里衣